

日本大学 広報

編集・発行 日本大学広報部広報課 購読料 年間1,000円(送料共)
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 電話 03(5275)8132直通
http://www.nihon-u.ac.jp

勢ぞろいした新執行部



▽前列左から石井進、高松雄行、板橋文男、古屋尚、成澤文明、田中範男(以上常務理事)、小沢一郎、田中英壽
理事長、大塚吉兵衛総長、小柳治宣、牧村正治、野田慶人(以上副総長)
▽中列左から出村克宣、杉本稔、松井勇、佐藤三武朗(総長代理・代行)、越川憲明、中村克夫、小野沢元久(理事
長代理・代行)、滝戸俊夫、馬場邦明、草間貞、片山容一
▽後列左から大工原孝、河野英一、坂下正則、若女井光男、加藤直人、勝山進、高野和雄=全員理事・敬称略

田中・大塚新体制が始動

田中理事長・大塚総長の新体制が創立125周年、8年後の130周年
へ向けた改革へスタートを切った。第13代の大家吉兵衛新総長が9月1日
就任、役員改選を受けた初の理事会が9月10日開催され、理事長に田中英
壽氏を再選した。また常務理事は、130周年記念基金担当も兼ねる石
井進氏ら6人体制となった。理事会後の臨時評議員会では理事長・総長一
体となって、盤石の財政基盤の確立と日本一の教育力実現を強く訴えた。

田中理事長を再選

理事会は、仮議長に大塚総長を選んだあと「学
校法人日本大学理事長選
任に関する件」からスタ
ート。寄附行為第8条第
1項の「理事のうち1人
は、理事の互選によって
理事長となる」の規定に
従って別室で開いた選考
委員会が田中理事の推薦
を決定。これを満場一致
で承認した。



改革加速をめざす大塚総長(右)と田中理事長

田中理事長「この3年
間進めてきた赤字体質改
善をさらに推進、磐石な
財政基盤の上に日本一教
育力のある大学を構築し
たい。平成31年の創立1
30周年を節目として記
念基金を実施します。こ
れを重要な施策と位置付
けて担当常務理事を任命
したい。すでに着手し
ているものは次のステ
ージへと進めていきたい
と思います。理事長もど
も改革内容の充実をはか
り大学の進歩、発展に努
めてまいります。特に日
本大学の教育力の充実に
努めます。ご支援をお願
いします」

評議員会での あいさつ要旨

大塚総長「教務面を8
年間お預かりします。今
後、各学部をはじめ皆様
と、日本大学の全体につ
いて協議をスピードアッ
プしたい。すでに着手し
ているものは次のステ
ージへと進めていきたい
と思います。理事長もど
も改革内容の充実をはか
り大学の進歩、発展に努
めてまいります。特に日
本大学の教育力の充実に
努めます。ご支援をお願
いします」

新監事に2氏を選任

9月10日開催の評議員
会は、2監事の辞任に伴
う新監事に齋藤貞、佐藤
正弘の両氏を選任した。
その後、坂田桂三、鈴木
龍夫の現監事を含む4氏
の協議の結果、常任幹事
には坂田、齋藤両氏を選
出した。

副総長に3教授

大学は、日本大学教育
職組織規程第3条に基づ
く副総長について、9月
2日の学部長会議と理事
会、小柳治宣(経済学
部長)、牧村正治(松戸
歯学部部長)、野田慶人(芸
術学部部長)の3教授を決
めた。任期は24年8月31
日まで。

新しい理事 及び評議員

(敬称略)

◇理事
▽総長 大家吉兵衛
▽理事長推薦 成澤文
明、坂下正則
▽本部及び各学部教職
員評議員から選出 大工
原孝、杉本稔、加藤直人、
小柳治宣、勝山進、野田
慶人、佐藤三武朗、滝戸
俊夫、松井勇、出村克宣、
片山容一、越川憲明、牧村
正治、河野英一、草間貞
▽校友評議員から選出
石井進、高野和雄、高
松雄行、田中英壽、中村
克夫、馬場邦明、若女井
光男
▽学識経験評議員から
選出 板橋文男、小沢一
郎、小野沢元久、田中範
男、古屋尚
◇評議員
▽総長 大家吉兵衛
▽学部長 杉本稔、加
藤直人、小柳治宣、勝山
進、野田慶人、佐藤三武
朗、滝戸俊夫、松井勇、
出村克宣、片山容一、越
川憲明、牧村正治、河野
英一、草間貞
▽本部長から選出
大工原孝、森見真、渡邊
喜好
▽本部教職員から選出
呉屋正盛、内田正人
▽各学部、通信及び短
大の教員から選出 船山
泰範、紅野謙介、藤本訓
利、竹内幸雄、宮沢誠一、
黒川祐次、山本寛、日秋
俊彦、永嶋誠一、小川節
郎、前野正夫、和田守康、
長谷川功、齋藤好廣、福
田弥夫、小石川正男、島
田正文
▽各学部及び通信の職
員から選出 成澤文明、
坂下正則、瀬口邦夫、濱
田武彦、小野卓、若松俊
雄、齋藤直樹、鈴木孝司、
三ツ井直紀、加藤了
吉成允宏、東山寛、浅海
俊明、塚本一造、佐々木
修一
▽付属高校の教職員か
ら選出 曾田允、仁藤芳
治

10年ぶり2度目の栄冠

夏の甲子園 日大三高が全国制覇

日大三高が全国401
4高校の頂点に立った。
第93回夏の全国高校野球
選手権大会決勝は8月20
日甲子園で行われ、日大
三(西東京)が11-0で
光星学院(青森)を下し
て2001年以来10年ぶ
り2度目の優勝を飾っ
た。これで日大三は、1
971年春を含め3度目
の甲子園覇者となった。
本学付属高校ではこのほ
か1972年春の日大櫻
丘の優勝がある。

昨年準優勝、今春ベスト
4と、今夏は伝統の攻撃
力で優勝候補に挙げられ
ていた。鋭い振りのパン
チ打線は1回戦から決勝
までの全6試合で2桁の
計81安打。チーム打率3
割9分3厘の攻撃力を発
揮した。守りでは、故障
から復活したエース吉永

が決勝、準々決勝(対習
志野)の2完封を含む5
試合完投、全6試合で勝
利投手となるなどフル回
転。王者の名にふさわし
い試合ぶりをもたらし
た。

また、日大三から3選
手が選ばれた18歳以下ア
ジアAAA選手権の日本
高校代表は、決勝で韓国
を6-1で下して4度目
の優勝。吉永投手が毎回

の13番三振と活躍した。
被災学生への特別
措置24年度も継続
東日本大震災と福島第
1原発事故の被災学生を
対象にした本学独自の授
業料減免などの特別措置
の概要(7月現在)が本
部(学務部、財務部、学
生支援部)から9月2日
の理事会に報告された。
父母など学費負担者の

死亡、その家屋の全壊・
全焼などの被害(A区
分)にあった学生は工学
部71人、東北高校20人
をはじめ全学部、2付属高
校など192人にとっ
て。また家屋の半壊・半
壊(B区分)は178人。
さらに原発事故による避
難指示、計画的避難区域
に居住する学生は医学、
薬学を除く12学部にあ
び、減免の対象者は50人

だった。被害区分ごとの
23年度の減免総額はA区
分が2億120万円、B
区分1億1220万円、
原発が3090万円。総
計で対象者420人、減
免総額は約3億440
0万円となり、原資は大
学本部、学部等が負担す
る。

この特別措置は24年度
も継続することが決まっ
ている。